

すこやか 7 月号

SANDA CITY HOSPITAL PRESS SUKOYAKA

第 198 号
月号



特集
FEATURE

新生児によくみられる病気 ～新生児黄疸～

小児科 副部長 井上 友子

■日本小児科学会認定
小児科専門医

■日本小児神経学会認定
小児神経専門医

黄疸とは

黄疸おうだんという言葉はよく耳にしますが、詳しくご存知の方は少ないと思います。全身に酸素を運ぶ赤血球は、寿命がくると壊れ新しい赤血球が造られていきます。赤血球が壊れると内部からヘモグロビンという物質が流出し、ビリルビンへと変化します。ビリルビンは肝臓で処理され、胆汁の一部となり、最終的に便や尿となり体外へ排出されます。従って赤血球が大量に壊れたり、肝臓の働きが悪くなるとビリルビンが増加して皮膚や目に沈着し、黄色く染まります。このような状態を「黄疸」と呼びます。

新生児特有の黄疸

小児や大人で黄疸といえは肝臓病のサインであることが多いですが、新生児には特有の原因があります。①赤血球が多い、②赤血球の寿命が短い、③肝臓のビリルビン処理能力が低い、④腸に分泌されたビリルビンが再吸収されやすい、など胎内環境に適した体質が残るためにビリルビンが高くなりやすく、ほぼ全ての新生児に生後5～7日目をピークに生理的黄疸が生じますが、程度は軽く自然に治ります。しかし、お母さんとの血液型不適合で赤血球が大量に壊れる「溶血性黄疸」や「多血症」、「感染症」、「早産・低出生体重児」などに伴う病的な黄疸は、より重症で長引きやすく、高濃度のビリルビン

は、永続的な脳神経障害を引き起こすことがあるため治療が必要です。

治療法

治療には主に「光線療法」と「交換輸血」があります。光線療法とは、光線を皮膚に照射してビリルビンの構造を変化させ、体外に排泄させやすくする治療です。目を保護するためアイマスクが必要ですが、赤ちゃんへの負担は軽く安全な治療法です。多くの黄疸は1～2日間の光線療法で改善しますが、重度の黄疸では、赤ちゃんの血液を一部入れ替える「交換輸血」が必要になることも稀にあります。当院で出生される赤ちゃんは、殆どが光線療法で治療可能ですが、交換輸血が必要になった場合には、地域周産期母子医療センターである済生会兵庫県病院に紹介するなど、地域で連携しながら常に適切な医療を提供できるよう心掛けています。



光線療法の様子

Topics

三田市民病院トピックス

患者さま満足度調査の結果報告

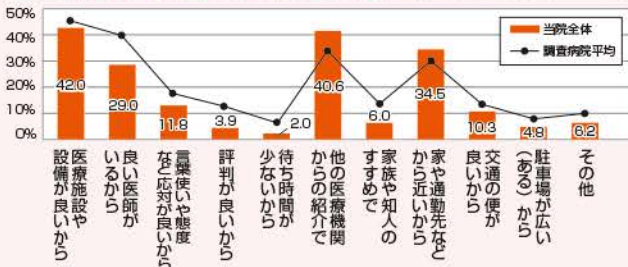
昨年、入院・通院患者さんを対象にアンケート調査を実施しましたので、概要を報告します。

患者さま満足度調査の結果〈外来部門〉

平成28年11月28日～12月2日実施、回答者数896人

平均年齢：61.2歳
性別：男性48.5%、女性51.5%

■当院の選択理由(複数回答可) 有効回答者数:747人



■診察待ち時間 有効回答者数：631人

平均待ち時間：44.8分

※1 調査病院平均との差：-2.2分

■総合評価点 有効回答者数：750人
「総合的に当院を100点満点で評価すると、何点ぐらいになりますか」

※2 平均評価点：80.3点

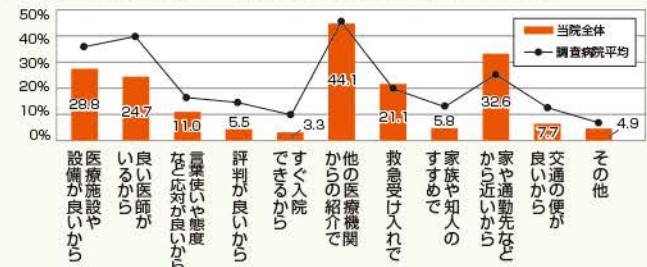
調査病院平均との差：+2.1点

患者さま満足度調査の結果〈入院部門〉

平成28年11月21日～12月22日実施、回答者数405人

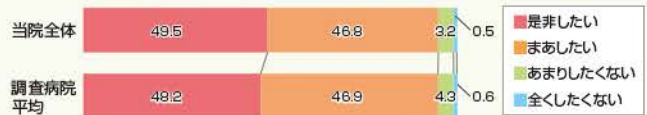
平均年齢：62.9歳
性別：男性60.1%、女性39.9%

■当院の選択理由(複数回答可) 有効回答者数:365人



■紹介・推薦意向 有効回答者数：372人

「知人等に、当院を紹介や推薦したいと思われませんか」



■総合評価点 有効回答者数：369人
「総合的に当院を100点満点で評価すると、何点ぐらいになりますか」

平均評価点：87.1点

調査病院平均との差：+2.1点

※1 調査病院平均：250床以上500床未満の45病院で同内容の調査を実施した平均値(平均病床数:354床)

※2 平均評価点：「非常に満足」を100点、「満足」を75点、「どちらともいえない」を50点、「やや不満」を25点、「不満」を0点とした平均点



バスの発車時刻をお知らせしています

バスを利用される方の利便性の向上を図るため、神姫バス株式会社の協力を得て、中央受付のテレビ横に「バスロケーション表示機」を設置しています。病院敷地内と病院前道路のバス停の時刻や運行状況をスムーズにご確認いただけますので、ご活用ください。



近隣医療機関のご紹介

市民病院は地域医療連携を推進します。かかりつけ医を持ちましょう!



竹本整形外科 竹本 勝一 院長

平成28年10月にウッディタウンに開院して丸20周年を迎えました。ここまでこられたのは、患者様や周りの方々の支えあってこそだと感謝しております。

時間帯によっては患者様を長時間お待たせすることもございますが、スタッフ一同、親身になって対応させていただきよう心がけております。

当院で治療が難渋する場合は、三田市民病院はじめ基幹病院への紹介をさせていただいておりますが、特に三田市民病院とは日頃から密の連携を取らせていただいております。諸先生方が十分な治療を行えるように今後とも初期治療につとめさせていただき所存です。

患者様におかれましては、下記連絡先までお問い合わせの上、受診していただくと幸いです。

〒669-1321 三田市けやき台3-76-4

電話 079-565-6030

診察科目 整形外科、リウマチ科、
リハビリテーション科

休診日 木曜・日曜・祝日、
月曜・火曜・水曜・土曜日の午後



診療時間		月	火	水	木	金	土
午前	8:30~11:30	○	○	○	×	○	○
午後	3:30~6:30	×	×	×	×	○	×

おかもと小児科 岡本 光治 院長

当院は、平成6年にウッディタウンけやき台に、小児科医院として開院いたしました。診療は、小児科の特徴で発熱などの感染症疾患が中心のため、感染予防と待ち時間短縮を目的に、診察は予約制にしています。

最近、感染症の診断もインフルエンザだけでなく、迅速診断のできる細菌やウイルスが増え、早期診断により治療が的確に行えるようになりました。また、病気を予防するワクチンの種類も多くなり、そのため赤ちゃんは生後2ヵ月から複数のワクチンを同時に注射することで、流行する病気も以前と比べずいぶん変化しています。

開院して23年になりますが、これからも市民病院小児科や済生会兵庫県病院小児科など地域の中核病院と連携し、子どもたちのために最善の医療を提供できるよう、スタッフ一同とともに尽くしていきたいと思っています。

〒669-1321 三田市けやき台3-76-5

電話 079-565-1699

HP <http://web.clinicn.jp/okamoto/>

診察科目 小児科、内科

休診日 木曜・日曜・祝日、土曜日の午後



診療時間		月	火	水	木	金	土
午前	9:00~12:00	○	○	○	×	○	○
予防接種 乳児検診	3:30~4:00	○	×	○	×	○	×
午後	4:00~6:30	○	○	○	×	○	×

編集後記

これからの季節は気温も高くなり、何をしても油断は禁物。今年も暑い夏が予想されますので、日焼けと熱中症の対策は必須です。特に体温調節と水分補給に注意して、楽しい夏の思い出をたくさん作りましょう。

すこやか(第198号)
平成29年7月発行

【編集・発行】
三田市民病院
学術広報推進委員会

 **三田市民病院**

〒669-1321 三田市けやき台3丁目1番地1
TEL.079-565-8000 (代表)
<http://www.hospital.sanda.hyogo.jp/>